

第26回関西圏国家戦略特別区域会議 京都府 提出資料



2020年12月1日
京都府

背景

2020.7.14
世界と伍するスタートアップ・エコシステム
拠点都市の形成都市（京阪神）に認定

5年後の目標

- 世界中から京都で働きたいという**グローバルな人材が集まる環境を創造**し、世界のマーケットへの展開を支援
- 京都の強みであるものづくり分野、バイオやロボット、次世代電池、AIなど最先端技術等のディープテック分野スマートモビリティを活用したMaas等のソーシャルイノベーション分野のスタートアップを倍増させる。

現状＜現場ニーズ等＞

- ＜スタートアップ企業・先端技術活用型ベンチャー＞
- ・iPS、AI、ナノテック、コンテンツ産業を中心に海外人材活用の要望多数
- ＜ジェトロ（海外ビジネスセンター）＞
- ・外国人起業活動促進事業（スルバ）の活用相談多数

高度人材の集積に関する本府の取組

- 京都府プロフェッショナル人材戦略拠点（②～）
- ・経営、研究開発、営業等の課題を解決する人材確保支援

特例の概要

■ 特例概要 ■

先端技術の事業化、新商品開発に係る補助事業を活用する事業者で就労する外国人を出入国管理上の優遇措置を講ずる高度人材ポイント制の特例加算の対象とし10点を加算

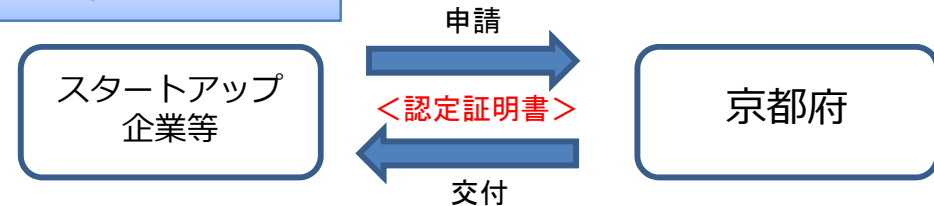
■ 実施主体 ■

京都府

■ 対象補助事業 ■

- ・京都ITノミカゲデニング支援強化事業（最大3千万円の資金支援）
- ・「企業の森・産学の森」推進事業（最大5千万円の資金支援）
- ・次世代地域産業推進事業（最大1千万円の資金支援）

手続フロー



期待される効果

- AI・ナノテック材料など、ディープテックシーズの実装に必須となる**優秀な海外人材の集積**
- 品質保証や各国の工業規格に精通する専門人材が、京都ブランドを世界に発信し、**国際ビジネス力を強化**

本特例を適用することで、エコシステム形成拠点に海外の高度人材を集積させ、海外市場への本格参入・協業、海外投資家からの資金調達を強力に推進

グローバルスタートアップ企業の海外競争力強化